

令和3年度町政懇談会意見交換要旨

【実施日】令和3年6月26日、7月3日、4日、11日（4日間）

※自治会単位で開催。東地区自治会は合同開催。（希望ヶ丘自治会を除く。）

【参加者数】 121名

【意見交換要旨】

●コロナワクチンについて

	住民からのご意見	町からの回答
1	コロナワクチン接種の予約1回目のとき、コールセンターと健康増進課に電話した。次いつですかと聞いたらわかりませんと言われた。住民目線で答えてほしい。	1回目ではワクチンの供給量が4000枠しかなかったため、コールセンターの回線がパンクした。わかりませんと答えたのは、ワクチンがいつ入ってくるのかわからないということだったと推測する。
2	接種予約後、ハガキが届いたが、5分前に来るようにと書いてあった。これは車で行く人が前提で、公共交通機関で行く人のことをまったく考えていないのでは。	ワクチン接種にあたり、待合での密を避けるため、待っていただく場所がないということをお伝えしたかった。また、会場分散のため、国保診療所での接種を行えるようにしている。
3	ワクチン数と予約数に100名あまりの差があるが。また、予約方法について、役場に行ったら対応してもらえたというのも聞いたがどうなのか。	ワクチンの供給量に対して、予約数の差が100名あまりあったということ。キャンセルも結構あったように思う。役場で予約の対応はしていない。
4	ワクチン接種について、65歳以上の方で接種されていない人のチェックは。	打ちたいのに予約できていない人について、フォローアップさせていた

●まちづくりについて

	住民からのご意見	町からの回答
1	カーブミラーが見にくい箇所や道路が陥没している箇所、停止線が見にくくなっている箇所がある。	カーブミラーについては、順次更新していく予定。街路樹の樹木も点検し、危ないところは伐採し、車いすが通れるよう配慮していく。停止線の関係は、警察の管轄なので、要望していく。
2	雑草が生い茂っているなど、空き家の手入れ不備が見られる。町として何かアクションを起こしているのか。	担当課から所有者へ連絡し、適正管理をお願いしている。また、納税通知書にもチラシを同封し、同様のお願いをしている。
3	昔は第1学区というのが魅力で引っ越しをしてきた。今はそんな魅力がない。何か魅力がある。インセンティブも必要。ユーベルを魅力にすることもできる。もっと特徴を出すべき。	トヨノ応援会という取り組みで団体の活動を通じて、町の魅力を発信している。一長一短にはいかないが積み上げていきたい。
4	木代崩落跡地の工事が止まっているが進捗は。	委員会を立ち上げて工事内容が決定したが、1年半進んでいない。池田土木に確認すると、土を入れてフラットにする必要があるということだった。木代と希望ヶ丘自治会には池田土木から話があると思う。
5	今回で3回目の懇談会になるが、これまでの懇談も含め、現在策定中の総合まちづくり計画に反映させていくのか。	いただいたご意見について、少しずつ進めていきたい。

6	人口増加策について、本町では持ち家の比率が高いが、賃貸住宅が多い方が人は集まるような気がする。池田や川西の 2LDK だと家賃 8 万円くらいしている。3LDK だと 10 万円はする。例えば、豊能では 6 万円以下にしたとしても、定期で 22,160 円かかるが、合算しても十分に住めるし若い人を呼び込めると思うが。	今は空き家の流通化を図っていきたい。テレワークができて、書斎がもてる住宅に注目が集まっている。あとは PR をどうしていくか。豊中、茨木、箕面あたりがターゲットになると考えている。
7	賑わいづくりに古民家空き家活用はいいが、市街化調整区域がネックで何もできない。緩和の考えはあるのか。	法律の規制があり、区域は外すことはできないが緩和の方法がある。道路や駅周辺を整備していくゾーンを決め、総合まちづくり計画の中で土地利用のあり方も示していきたい。また、来年度に都市計画マスタープランをつくる。企業誘致なり緩和も考え、次年度検討していく。
8	大和団地との連絡道路（広域道路）の進捗状況は。孤立になるのを懸念している。	連絡道路開通に向け、四者協定の中で進めている。昨年度はコロナの関係もあって川西市とは 1 回しか協議できていない。町側に私有地があり、用地交渉をしており、前向きな協議を進めている。今後協議を再開する予定。
9	地区内に住宅が建築されている。両サイド 1m あいていないように思うが、建蔽率違法ではないか。調べてほしい。	都市計画課あて建築確認申請は出されている。竣工後、検査もするので、建蔽率は確認する。用途区域を第一種低層区域などの区域分けしている。建蔽率はその用途に基づくもの。
10	樹木に白いテープが巻いてあり、街路樹を伐採してもらえると勘違いしている人がいる。何の目的か周知してほしい。	あのテープは 2 年前から支障木、老木かどうかの調査をし、その際の目印としてつけたもの。広報等で周知していく。
11	自治会の加入率が低い。新しい体制を構築しないといけない。理想の在り方は。	財政状況が厳しい中、自治会にお願いしないといけないことも多い。関係部局と検討していく。
12	息子が家を探しているが、箕面森町が良いという。「豊能町は？」と聞くと「枯れていく町だ」と言っている。森町には魅力があるのだと思う。箕面森町は PR もしている。町の考えは。	森町は子育て層が多く住んでいるのが魅力なのだと思う。また街並みの歩道が広いなど新しい都市計画で進めているので魅力的に見える。森町も 50 年後は本町と同じような町になるのではないかと考えている。いずれにしても本町において魅力あるまちづくりを進めていきたい。
13	光風台から大和団地の連絡道路が開通したが、バイクが通れないのは何故か。	H30.7 月豪雨で道路が通行止めになり本町が孤立したことがあったことを受け、川西市とは協定を結び色々な事項を検討している。検討内容の一つが光風台～大和団地の通行できる歩道の開通。2 つ目は星野石油からの上り信号左折した 12m 車道を大和団地と繋げることであった。1 つ目の光風台～大和団地間の歩道は、開通できたが近隣住民の反対でバイクは通行できない。2 つ目の車道の開通については現在交渉中。
14	経済対策についてお聞きしたい。学校の力のいれようはよくわかった。企業誘致、スマートシティ、企業間連携などの話を聞いたが漠然としている。税収減と魅力あるまちには経済対策必要。新名神ができて森町には物流センターができており、本町との落差を感じる。具体的な対策は。	これまで東地区は農業を中心に、また町外で働く方が多く、大きな産業が入ってくる要素がなかった。企業団地というのは無理だが、東地区で何とか利便性があがるものを誘致したい。国道 4 2 3 号等の沿道沿いは緩和しようと進めている。戸知山周辺も同じ。長期的な視点でやっていきたい。賑わいを作り出したい。
15	コロナが終息したら、外に出て行きたいという心理がある。町内の店舗、事業所が今以上に落ち込んでいくのではと危惧している。	広報紙にも入れさせていただいたが、コロナ対策関連予算として、暮らしを支援する補正予算を組ませていただいた。直接的に産業に投資するのではなく、全体的に支援していきたい。

●公共インフラについて

	住民からのご意見	町からの回答
1	ときわ台駅から支所までのバスが通る道で、側溝がオープンになっている箇所がある。蓋をしてもらえないか。	H20 から補助金を活用して歩行空間確保をやっている。ご意見の箇所は、補助金の対象外であったため進んでいなかった。今後検討させていただく。
2	ときわ台 1 丁目公園を清掃していて、溝に法面の土や枯葉が落ちてたまる。毎回あげているので、落ちないように工夫できないか。	一度、現場を見させていただく。
3	社協跡地について、何か活用方法はあるのか。	今年度解体予定。跡地活用について検討している。
4	戸知山について、以前戸知山意向調査をされ、警察犬の訓練場、都市型スキー場、キャンプ場など、事業者の意向を聞いておられた。しかし、今では工事の資材置場になり、道路はがたがたになり悲しい。今後どうしていくのか町の計画を教えてください。	H19に意向調査を実施し、戸知山をどう活用できるのかを事業者に投げかけた。戸知山活用のネックは上下水道がきていないことで、活用するには初期費用がかかる。活用したい気持ちはあるが余剰資金がなく具体的な策にたどりつかなかった。今も問い合わせはあるので、自然を活かした形での活用を検討していきたい。
5	戸知山を将来にわたって遊ばしておくわけにはいかない。公園形式のような憩いの場として活用してはどうか。	広大な土地であるため、管理をどうしていくのかも含めて考えていけないといけない。町民の憩いの場で開放できるように検討していきたい。
6	先日吹田に行った。子どもたちが自転車に乗って公園へ遊びに行く。本町の公園は砂場に草が生えている。あれでは子どもは遊ばない。	住宅開発時につくった公園で 30 ～ 40 か所ある。実態としては、あまりつかわれていない。現在、武庫川女子大学と連携して、公園のあり方について協働研究をしている。
7	将来的にふれあい広場はどうなっていくのか。フェンスを外して開放的な休憩できるスペースにしてはどうか。	活用については、ふれあい広場単独ではなく令和 8 年に学校再編時に併せて検討していく。今後、保幼小中の子どもの場所も検討していく必要があるのも検討しながら。また公園を未就学児の集える場所として活用できないかなどについても 9 月に開催予定のワークショップで住民の皆さまからの意見を聞きたい。 また、現在、公園の利活用については武庫川女子大学と協働研究を行っており 9 月にワークショップを開催し、具体的に考えていく予定。

●行財政運営について

	住民からのご意見	町からの回答
1	収入が減っているということだが、例えば、水道事業を民営化することやユーベルホールを民営化することは考えていないのか。ユーベルは利用率も悪いし、収支も悪い。	水道事業については、広域水道企業団でやっている。水道法第 6 条の規定により、基本は自治体でやらないといけなくなっている。経営の部分だけは業務委託としてできても、完全民営化には法的にできない。 公共施設のあり方については、今年度、再編検討委員会を立ち上げ、2 年間であり方を検討していく。
2	工事費や補助金などの見積書をオープンにしてほしい。	基本的には入札を行うので、オープンにしている。
3	水道料金は府内では高いほう。行政運営で安心感があるが、今までと同じやり方では無理では。民間もいれて考えるほうがいい。	水道料金の一元化を進めている。

4	財政が厳しいのを聞くと夕張市を思い出した。赤字再建団体になるのではと不安感を持った。余裕がないということであれば、ある程度のことをしないとイケない。財政的にどれくらいもつのか。再建団体にならないためにどうするのか、住民に何を願うのか。また、そうなった原因は何なのか。どういう施策を組んでいくのか。人口は何万人を狙うのか。そういった目標を共有しないとイケない。	施策の取り組みや目標人口については、今年度策定の総合まちづくり計画において共有する。パブリックコメントもするので、ご意見もいただきたい。 夕張市については、市の決算に表なかったところで、第三セクターで行っていた事業が借金を増やしていった。市が保証人になっていたが、ある日、事業破綻し、一気に悪くなった。本町は今のところそういった状況はない。借金の額は、住民一人当たりでみると、府内10町村中8番目であり多くはない。税収はどんどん下がっており、公共施設が維持できない。貯金を取り崩しながら行っているが、収入を増やすか支出を減らすことをしないとイケないので、今は経常経費を削減し、施設を再編していくしかない。今年度検討委員会を立ち上げ、方向性を出す予定にしている。
5	民間だと売り上げと経費を引いた利益がある。従業員に我慢の意識付けをするが、2〜3年が限度。夢もセットで与えないとイケない。若い人も高齢者も一緒、苦勞するために住んでいるわけではない。住民よりも職員はもっと我慢しなければいけない。中途半端はだめ。	夢の部分は総合まちづくり計画の中で、計画していきたい。またアイデアがあればいただきたい。
6	町を存続させるために、合併について選択肢はないのか。箕面森町も身近になっているし、可能性はないのか。	今のところ選択肢はないが、図書館の相互利用であるとか、広域連携を充実させていく。
7	たくさん課題があるが、解決の順番は。	子育てしやすいまちづくり、高齢者にやさしいまちづくりを中心に考えたい。魅力ある学校をつくることや、AIを活用した見守りの仕組みを構築していきたい。
8	財政収支（赤字）をどのような方法で解決するのか。	まずは歳出を削減することを考える。総計や公共施設再編でビジョンをつくるが、大きな負担を改善し、将来あるまちづくりに向けて進めたい。これには、住民の皆さんへの負担もでてくるかもしれない。施設の老朽化による経常経費負担が増えているので、施設再編やその他事務の合理化もはかっていく。

●防災について

	住民からのご意見	町からの回答
1	避難行動要支援者名簿について、亡くなっている方がそのまま載っている。異動は反映できないのか。	年1回の更新のため、ズレがおこる場合がある。
2	地区内に公的な避難所がない。避難する気になれない。	弾力的避難所は西公民館になるが、地域コミュニティが核になってやることも大事。自主防災と連携を図りながら、速やかに動ける体制をとっていく。
3	警戒レベル3で高齢者等避難になる。75歳以上の一人暮らしや要支援者への支援をどうしたらいいか悩んでいる。町がリーダーシップをとって、個別計画をつくってほしい。	災害対策基本法が改正になり、個別避難計画が努力義務になった。防災部局として何ができるか考えていく。
4	気象警報について、大雨警報などは気象庁が発表するが、警戒レベルは自治体が発表することとなっている。レベル3で高齢者避難だと認識しているが、どういうときに警戒レベルをだすのか、また、避難所の対応は。	警報が発令されると、情報収集体制をとる。土砂災害が心配されるため、府のホームページに掲載されている今後の雨量予測をみながら、警戒レベルを超える予測の場合は、警戒本部体制を取り、避難所を開設する判断をしている。

5	避難所が開設されてからレベル3になるのか。	そのとおり。
6	警戒レベル3とか4の広報の仕方は。	防災無線やホームページ、またテレビのテロップなどでも広報される。
7	小学校で避難訓練をしているが、避難所が学校なのに学校関係者はなぜ一緒に訓練をやらないのか。体育館だけではまかなえないこともあると思う。三密の関係で教室も使わないといけないかもしれないので、お願いをするが受けてもらえない。	防災部局で訓練はやっている。協力は得られるようお願いはしていく。今は体育館のみで校舎は入っていないが、テントを設置するなどして密をさけるようにしている。連携してすめなくてはいけないと考えているので、災害の状況に応じて、一緒にやらしていただくよう取り組む。
8	避難所は小学校体育館だが、雨がメインのため、シートスが避難所になっている。どういう関係なのか。	地域防災計画において定めている。弾力的運用避難所として西公、中公、シートスがある。大規模な災害や長期的な避難が必要な場合は学校使うこととしている。
9	弾力的運用避難所はホームページでわかりにくい。広報方法を考えてほしい。	風水害のときに弾力的運用避難所があくので、わかりやすい広報を心がける。
10	高齢化で避難できない方もいる。ボランティアの運転など、代替交通網の整備がいるのでは。	高齢化率が高く、免許の自主返納も増えている。一次交通に加えてドアトゥドアをどうするのか、A I 交通等も検討し、民間の力も借りてやりたい。
11	雨量が多くなると一の鳥居から豊能町間が通行止めとなり迂回しないといけな。何とかならないか。	光風台から大和団地間に車道が抜ければ迂回する必要がなくなる。現在川西市へ交渉中。民地買収にも努めていく。また川西市の企業団地造成が進めば箕面森町に車道が抜けて来るのでアクセスは良くなる。また、一の鳥居から豊能町間は雨量 110m で通行止めになる。現在宝塚土木と交渉中。
12	西成天下茶屋の崩落を見て星野石油辺りの景色が似ている。危険箇所のチェックは行っているのか。	川西市長と協議を行い宝塚土木へ要望している。防災における危険箇所見直しについては昨年、宝塚土木と一斉確認を行っている。

●公共交通について

	住民からのご意見	町からの回答
1	接種予約後、ハガキが届いたが、5分前に来るようにと書いてあった。これは車で行く人が前提で、公共交通機関で行く人のことをまったく考えていないのでは。（再掲）	大阪府や阪急バスとの勉強会を開催しながら、最適な公共交通について模索している。その中で、デマンドタクシーの路線を拡大することや、AI オンデマンドといったスマートシティの取り組みなども進めている。
2	西地区と東地区では医療機関の数が違う。東西バスは利用者が少ないからなくなったということだが、復活してほしい。自治会をあげて利用する。	公共交通の利用者は減っている。この原因は何か実態調査をやりたいと考えていたが、コロナ禍でできなかった。他市町では、NPO などが乗り合いでやっているところもあるので、様々な方法を検討していきたい。

●農林業について

	住民からのご意見	町からの回答
1	イノシシやシカの被害が増えている。民家のそばまできている。猟師も高齢化している。捕獲に力を入れていただけないか。	広域化等の協議をしていく。柵の設置補助については、大阪府に要望している。
2	4月にクマが誤捕獲された。近くに民家もあるので注意喚起をどうしていくのか。	6月30日に、子熊が捕獲された。大阪府と豊能警察、消防、教育委員会等と連携した。ホームページ及びたんぽぽメールで注意喚起を行った。目撃の場合でも猟友会とも連携し、もちろん自治会長にも連絡する。

●環境について

	住民からのご意見	町からの回答
1	野良猫の避妊補助金をだしてほしい。	新しい補助制度は難しい。
2	ダイオキシン汚染物について、埋め立て処理に時間がかかっている。ネックは何か。	一般廃棄物の取り扱いとなり、町の責任において町内で処理しないといけない。コンクリート固化しており、無害でいつでも処理できる状態であるが、最終処分場をつくらないといけない。今は旧双葉保育所にあるが、埋め立てていい場所あれば持っていく。そのための話し合いを続けている。
3	ダイオキシン廃棄物が旧双葉保育所に置いてある。保管期限が切れているが状況が変わっていない。	コンクリート固化したものであり、低濃度で安全性の高い廃棄物を仮置きしている。

●福祉について

	住民からのご意見	町からの回答
1	新聞報道によると認知症行方不明者が大阪府が一番多いと出ていた。町でも SOS ネットワークをやっているが、件数把握しているか。社協が訓練をしているが、要請と発生件数の違いがあると感じる。	早期対応する仕組みとして SOS ネットワークを実施している。これは警察とも連携しながらすすめている。件数は調べて後日回答する。 (7/8 担当課確認 R2 支援件数延べ35名、登録者8名)
2	高齢者の一人暮らしが増えている。ごみが出せない人もいる。近所の人も手伝ってはいるが、ステーションでなくパッカー車が通る道沿いに出せるようにできないか。	自治会長会でもご意見をいただいているところ。ステーションの移設が可能か検討したい。

●情報発信について

	住民からのご意見	町からの回答
1	ホームページが見にくい。検索しても見つけにくい。修正してほしい。	今年度、リニューアルを予定している。見やすいページづくりに努めていく。
2	たんぽぽメールを利用しているが、日常生活に関わる情報、例えば能勢電が遅れているとか、警察からの情報とか、町の情報とリンクして流せないか。	関係機関との連携情報については、今後検討していきたい。できる限り必要な情報は流していきたい。将来にわたっては、スマートフォンを活用し、プッシュ通知などでもお知らせできればと考えている。

●教育について

	住民からのご意見	町からの回答
1	昔は第1学区というのが魅力で引っ越しをしてきた。今はそんな魅力がない。何か魅力がある。インセンティブも必要。ユーベルを魅力にすることもできる。もっと特徴を出すべき。 (再掲)	学区制はなくなったが、魅力ある学校づくりに努めている。一つの柱である保幼小中一貫ともう一つはR4からとよのみらい科の授業に取り組んでいく。R8義務教育学校開校に向け進めていく。
2	今後、英語教育を取り入れていくようだが、日常会話も英語でやるのか。	桃山教育大学と連携協定を結び、安井先生という方に英語の責任者としてアドバイスをいただくことにしている。グローバル教育ということで、保育所幼稚園から英語が使える子どもを育てる。
3	帰りの通学路で中学生は正式な通学路でないところを通っている。小学生は正規のルートを歩いている。学校まで迎えに行っている保護者も多い。母がフルタイムで働いている子は長い距離を歩かないといけない。通学路の変更はできないのか。	安全に登下校することは大事。通学路を確認し、子どもたちにも示している。小学生と中学生が一緒に通学することも考えていきたい。 以前自治会から打診があったが、歩道がないので危ないということになっている。変更の可能性としては、まず、近隣住民の同意があり、自治会の同意があり、警察協議（要望をあげていく）の流れになる。
4	7月に開催される学校説明会は自治会も参加できるか。	今回はまず保護者に対して説明したいと考えている。WEbでは聴くことができる。またホームページでの公開を予定している。
5	西地区の認定こども園について、開設時期や場所について教えてほしい。	東地区はH23に公設のこども園をつくった。昨年8月協議しており、西地区のこども園について、小中再編の場所（吉中）に近い方がよい、周辺がふさわしいと考える。時期は、義務教育学校がオープンするR8.4に思っているがまだ決定ではない。6.1に審議会に諮問し、来年1月に答申いただく予定。公設か民営かも含め、視察もして検討したい。
6	小学校では、母子ともにあいさつしてもかえってこない。教育上悪いのではないか。	登校の様子をみているが、たしかに声をかけてもできていないときがある。気持ちのいいあいさつは大事だと考え、あいさつ運動などスローガンを掲げやっている。また、地域協議会でもすすめていきたい。
7	学校の全体像が見えてこない。費用はいくらかかるのか。人口が減る中で赤字も増える。教育が一番というのはわかるが、無理があるのではと気にしている。	費用面のシュミレーションはしている。東西合わせた事業費が35億円かかる。国庫補助金や地方債などで賄う予定。現在、地方債の残高が58億円ある。他の町村と比較して、府内10町村中、下から3番目に少ない状況で多くはない状況。